

1 令和6年度能登半島地震に係る被災地への職員派遣の状況（短期派遣）

<令和6年5月20日現在の派遣職員数>

総派遣実人数：県253人、市町村150人 計403人

（うち現在派遣中：県6人、市町村0人 計6人）

団体	業務内容	支援 開始日	発災から 現在までの 総派遣人数	（うち、 現在派遣中の人数）
県	リエゾン（県教委10名含む）【対口】	1月8日	49	一時中断
	物資搬出入、管理等【対口】	1月13日	44	対応終了(3/19)
	避難所運営支援【対口】	1月15日	59	対応終了(4/2)
	住家被害認定調査【対口】	4月2日	34	6
	保健師等（保福部関係）	1月9日	22	対応終了(3/15)
	土木職（土木部関係）	3月18日	1	対応終了(3/29)
	建築職（ // ）	1月15日	3	対応終了(1/28)
	農業土木職（農政部関係）	2月5日	16	対応終了(3/30)
	漁港関係職員（水産林政部関係）	1月18日	9	対応終了(3/27)
	災害廃棄物支援処理（環生部関係）	2月7日	16	対応終了(3/3)
		計		253
市町村	避難所支援【対口】（気仙沼市8名、加美町4名、蔵王町、村田町、丸森町、山元町、女川町、大河原町、色麻町、川崎町、大衡村、大郷町、栗原市、登米市、富谷市、七ヶ宿町、柴田町 各2名）	1月15日	42	対応終了(4/2)
	住家被害認定調査【対口】（東松島市6名、南三陸町6名、七ヶ浜町6名、松島町4名、登米市4名、大崎市、栗原市、石巻市、多賀城市、大郷町、角田市、利府町、岩沼市、涌谷町、塩竈市、白石市、亶理町、山元町、丸森町、大河原町、美里町、名取市、加美町 各2名）	1月15日	62	対応終了(5/19)
	教育活動再開支援 （石巻市、岩沼市、塩竈市、東松島市、富谷市、丸森町、大崎市、登米市、大河原町、南三陸町 各1名）	1月24日	10	対応終了(2/29)
	保健師等（名取市、気仙沼市、南三陸町、大崎市、七ヶ浜町、東松島市、塩竈市、丸森町）	2月2日	28	対応終了(3/15)
	罹災証明書発行支援【対口】（蔵王町、大和町、村田町、石巻市 各2名）	2月12日	8	対応終了(3/3)
		計		150
県・市町村	合計		403	6

※各業務毎に、7日間程度の活動期間を1クールとしてチームを編成し支援。

※市町村の独自派遣や県や全国自治体を經由しない省庁から市町村に直接要請があった派遣を除く

担当部局：復興・危機管理部（復興・危機管理総務課）、環境生活部（環境生活総務課）、保健福祉部（保健福祉総務課）、農政部（農政総務課）、水産林政部（水産林政総務課）、土木部（土木総務課）、企業局（公営事業課）

2 令和6年度能登半島地震に係る被災地への職員派遣の状況（中・長期派遣）

<令和6年5月20日現在の派遣職員数>

1. 宮城県職員の派遣

富山県に1名、石川県に6名、石川県能登町に3名の計10名を派遣している。

被災団体からのニーズを踏まえて派遣職員を選定しており、職種の内訳は、富山県が土木職1名、石川県が土木職2名、建築職1名、林業職1名、事務職2名、石川県能登町が土木職2名、農業土木職1名となっている。

(1)全国知事会スキーム(富山県1名、石川県6名)4月中旬以降順次派遣開始

■富山県

職種	派遣人数	派遣先	勤務地
土木	1名	土木部伏木港事務所	伏木港事務所(高岡市)

■石川県

職種	派遣人数	派遣先	勤務地
土木	2名	土木部監理課	奥能登土木総合事務所分室(輪島市)
建築	1名	土木部建築住宅課	県庁(金沢市)
林業	1名	農林水産部森林管理課	奥能登農林総合事務所(輪島市)
事務	1名	能登半島地震復旧・復興推進部 創造的復興推進課	県庁(金沢市)
事務	1名	土木部監理課	奥能登土木総合事務所(輪島市)

(2)総務省スキーム(石川県能登町3名)4/1から派遣開始

■石川県能登町

職種	派遣人数	派遣先	勤務地
土木	2名	農林水産課	能登町役場
農業土木	1名	農林水産課	能登町役場

2. 市町村職員の派遣

県内6市町から石川県内の被災6市町に対して、事務職6名、土木職5名の計11名の派遣が決定し、4月1日以降順次派遣されている。

【県内市町村の派遣状況】(4/1以降順次派遣)

市町村	派遣人数	職種 ※()は内訳	派遣先
仙台市	6名	事務(2)、土木(4)	かほく市、内灘町、志賀町
石巻市	1名	事務	志賀町
気仙沼市	1名	事務	能登町
名取市	1名	土木	輪島市
東松島市	1名	事務	能登町
山元町	1名	事務	穴水町
合計	11名		

担当部局：総務部（人事課、市町村課）、水産林政部（水産林政総務課）、
農政部（農政総務課）、土木部（土木総務課）